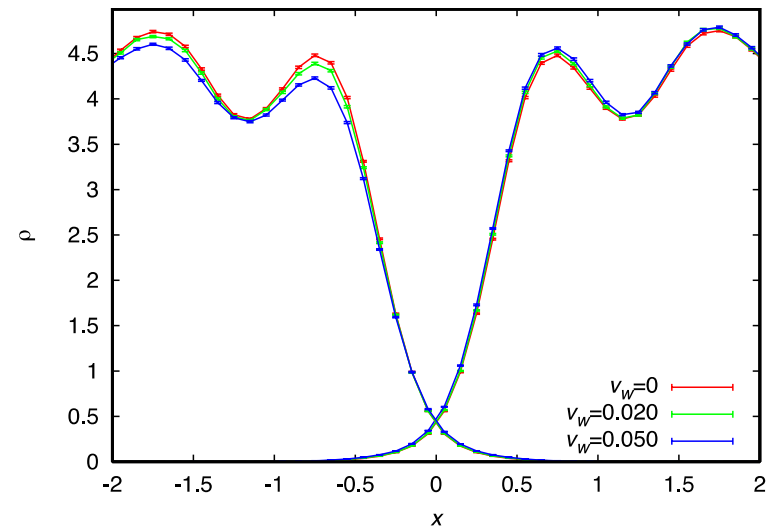
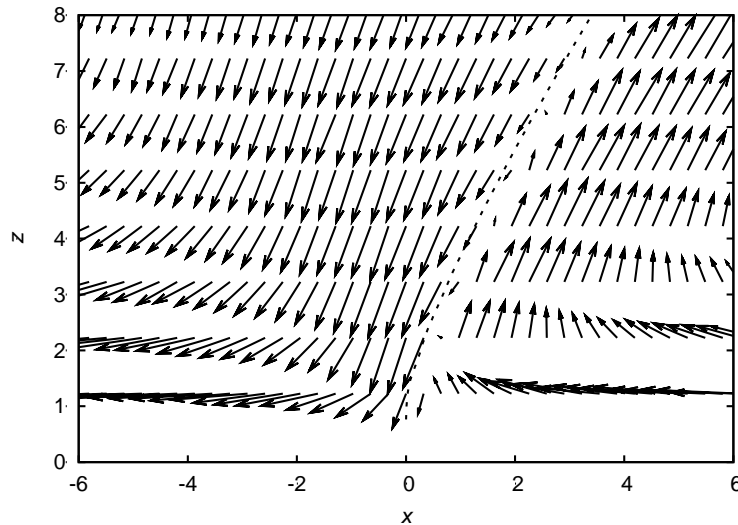


# 前進・後退接触角の非対称性

大阪大学工学研究科機械工学専攻 大森健史

分子動力学法を用いた解析結果から前進接触角と後退接触角の接触線速度に対する依存性には非対称性があり，その原因は流れによって誘起される密度分布の非対称性にあることを明らかにした。

利用した計算機：OCTOPUS（ノード時間 17K時間，ノード内並列）



左図：接触線近傍の速度分布（下面に設置された左方向に動く壁により界面によって隔られた2成分流体が駆動されている），右図：接触線近傍の第一吸着層における密度分布